

**【東広島市における GIGA スクール構想の目標】**  
 Society 5.0 時代を生きる東広島の子どもたちの可能性を引き出す  
 個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

めざす子どもの姿

児童生徒がタブレットのよさを感じ、文具やコミュニケーションツールとして活用している。

【個別最適な学びの実現】

- 学習 e ポータルとデジタルドリルの本格活用
- ※学習の活用システムの構築

本年度の取組

めざす教員の姿

教員が ICT 機器を日常的かつ効果的に活用して、授業等をしている。

【協働的な学びの実現】

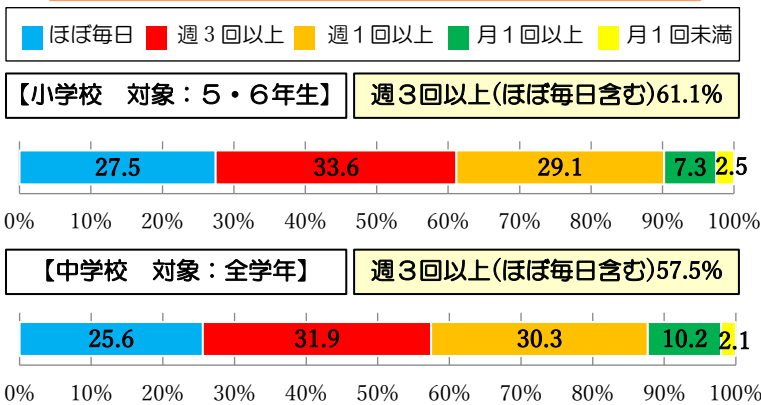
- ラーニングルームの設置
  - ※設置校の特色ある教育活動の推進
- 遠隔教育の充実
  - ※広域交流型オンライン学習・オンライン社会見学
  - 海外との遠隔交流・専門家による遠隔授業

【R5年度の実績】 ICT 機器の効果的な活用事例の蓄積

⇒R6年度 **授業におけるタブレット端末活用の日常化** ほぼ毎日（週3回以上含む） R5 小学校 61.1% 中学校 57.5%  
 R6 目標 **90%**  
 ⇒ R10 目標 **100%**

令和5年度学校教育レベルアッププランアンケート結果

授業で、タブレット端末をどの程度使っていますか。



【端末の活用例】

	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
調べる	教科書二次元コードの活用			
		フリタニカの活用(各教科)		
			インターネット検索サイトの活用	
記録する	写真撮影(生活科、社会科、理科、図画工作科、総合的な学習の時間等)			
	動画撮影(音楽科、体育科等)			
	振り返り(スタンプ、文章表記等)			
	学習ログの活用			
表現する	ピクチャーキッズの活用(作品、掲示物)			
	プレゼンテーションソフトを活用した発表			
	文書作成ソフトを活用した文書等の作成			
	表計算ソフトを活用したグラフの作成			
つながる	クラスルームの課題配信			
	映像・画像の活用(問いづくり)			
	遠隔交流・授業等			
	Google Workspaceを活用した共同編集、意見交流			

情報教育推進室の取組

Let's Try! GIGA 授業

タブレット端末活用の日常化につながる授業を参観し、協議します。タブレット端末を文具やコミュニケーションツールとして活用できる子どもを育てましょう！  
 実施 年6回  
 対象 希望者

教員の ICT 操作技能及び ICT を活用した授業力の向上



ICT 活用推進研修（学校訪問型）

ICT 支援員(授業支援担当)が次のとおり学校を訪問し、ICT 機器を効果的に使った授業づくり等をサポートします。  
 ①重点サポート  
 ⇒5月実施アンケート結果により対象校を決定し、訪問します。  
 ②要請サポート  
 ⇒要請のあった学校を訪問します。  
 ③計画サポート  
 ⇒重点サポート対象校以外の学校を訪問します。

タブレット端末持ち帰り

課業日 必須 (小学校1・2年生は実態に応じて)  
 夏季休業 全学年持ち帰り  
 冬季休業、学年末・学年始休業 学校判断

児童・生徒の ICT 活用能力の向上



ICT 作品コンペ

児童生徒が作成した作品を募集・審査し、表彰します。  
 実施 デジタルアート部門 夏季休業中  
 プログラミング部門 夏季休業中  
 プレゼンテーション部門 6月～11月

タイピング大会

市内の各学校において参加基準をクリアした児童生徒によるタイピング大会を実施します。  
 実施 年3回  
 対象 希望者

## これまでの学び



- 大小様々な規模の学校の自立
- 知識・スキルの伝達
- 独立した教室空間
- リアルで固定化した関係
- 教師と子ども

Society5.0  
の公教育

共同研究開発



東広島市



SoftBank

## これからの学び

- 規模の異なる学校の協働
- 公共的課題の対話
- 越境する教室空間
- デジタルによる柔軟な結合
- 多様な市民の包摂

## 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 第3期課題 「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

### デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校

#### 1. カリキュラムの開発

- デジタルを媒介にして①他者に考えを伝達し、②他者と意見を調整し、③他者としくみを構想し、④他者の提案を批評できるシティズンシップを育てます
- シティズンシップを育成するために、地域の公共的課題を取り上げ、対話します。そのための社会科&総合的学習の授業と教員研修プログラムをつくります

#### 2. 社会基盤の開発

- デジタルを媒介にしてシティズンシップを育成する授業を保護者や市民に開きます
- 学校を拠点にして、地域の公共的課題について大人と子どもがともに学び、対話することのできるシティをつくります

#### 3. AI学習支援技術の開発

- 離れた学校・離れた教室の意見を自動で収集・分類し、結果を学習者にフィードバックするAIプログラムと装置を開発します。複数言語にも対応します
- AIが、学習者の意思決定や政策提言を支援するデータを提供します

